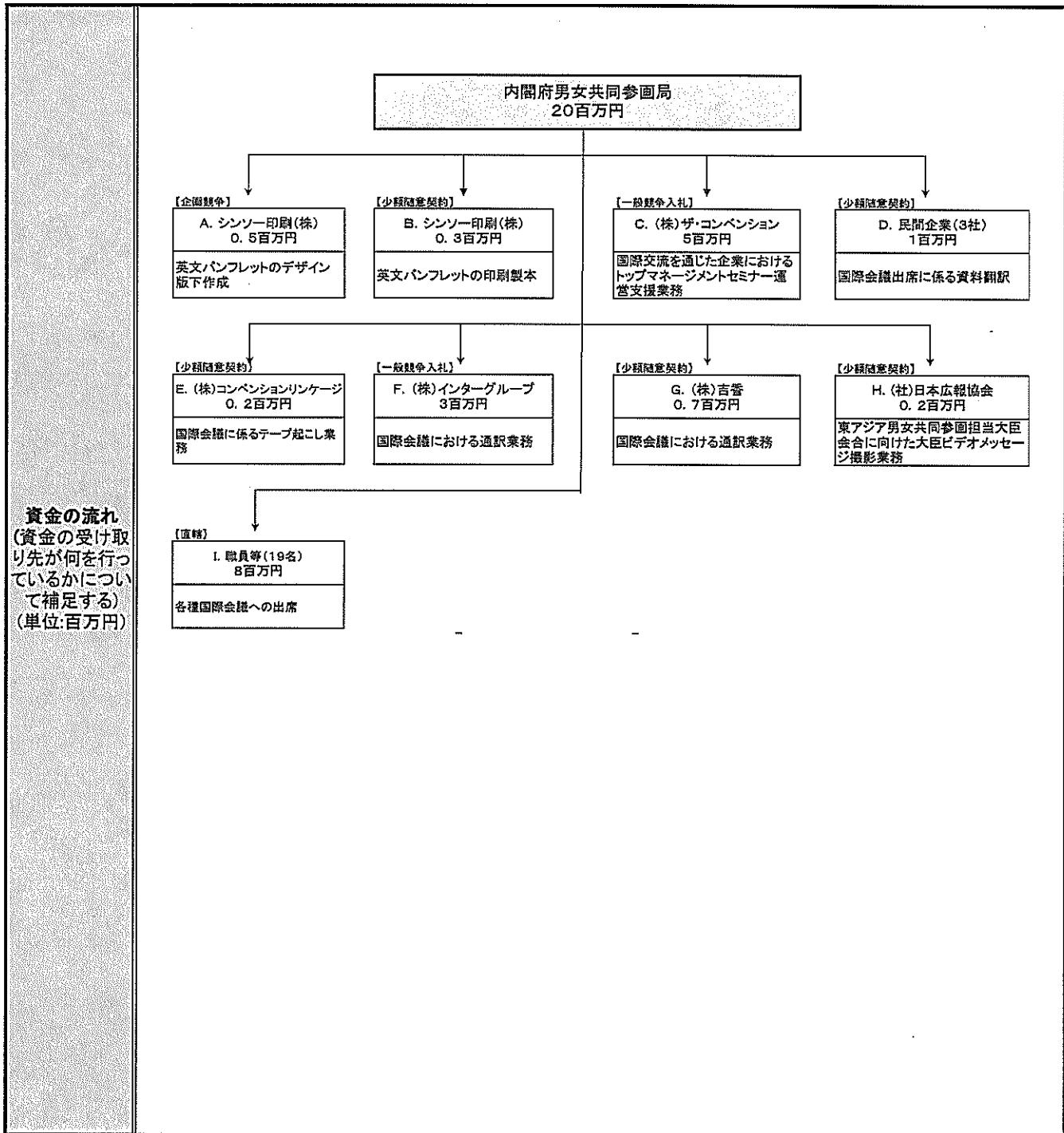


行政事業レビューシート (内閣府)

予算事業名	国際交流・国際協力の促進に必要な経費	事業開始年度	平成12年度	作成責任者		
担当部局庁	男女共同参画局	担当課室	総務課	総務課長		
会計区分	一般会計	上位政策	男女共同参画社会の形成の促進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	男女共同参画社会基本法	関係する計画、通知等	男女共同参画基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性の地位向上のための国際的規範や基準、取組の指針の国内への浸透を図る。男女共同参画社会の形成に向けた国際交流・国際協力を積極的に展開するとともに、我が国の取組について情報発信を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>「国連婦人の地位委員会」等の男女共同参画に関する国際会議へ出席し、国際的な意思決定の場に我が国の基本的な考え方を反映させるとともに、英文冊子を配布するなど日本の男女共同参画に関する施策を海外に積極的に紹介する。国際会議等を通じて、女性の地位向上のための海外の取組方針・事例等について聴取し、積極的に国内への紹介・浸透を図る。</p>					
実施状況	<p>(1)女性関係国際交流・調査研究等経費 ①国際協調情報交換経費【英文パンフレット作成 2,500部(21年度) ②国際交流を通じた企業におけるトップマネージメントセミナー【実施回数1回、参加人数137人(21年度) ③国際協調の下での男女共同参画推進のための調査研究【21年度は実施せず】 (2)各種国際会議に関する経費 ①国際会議出席経費【国連婦人の地位委員会(ニューヨーク)、女子差別撤廃委員会(ニューヨーク)、G8女性に対する暴力国際会議(ローマ)、ESCAPハイレベル政府間会合(バンコク)に出席(21年度) ②欧州評議会に関する経費【21年度は欠席】 ③APECにおけるジェンダー統合に関する活動経費【GFPN会合(シンガポール)、WLN会合(シンガポール)に出席(21年度) ④東アジア男女共同参画担当大臣会合に関する経費【会合(ソウル)出席(21年度) ⑤女性に関するASEAN+3委員会に関する経費【会合(ブルネイ)出席(21年度)】</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算額(補正後)	33	33	43	109	25	
執行額	29	27	20			
執行率	87.9%	81.8%	46.5%			
総事業費(執行ベース)	29	27	20			
自己点検 支出先・使途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> すべて、契約から納品まで進捗管理を適切に行うとともに、支出先・使途の把握を行っている。 セミナーの開催については、参加者に対するアンケートの実施により、事業目的に照らした効果の把握に努めている。 					
自己点検 見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 百万円を超える業務は一般競争入札を行うとともに、少額の業務も相見積もりにより安価な契約を行っている。 英文パンフレットの配布先について、より効果が発揮できるようさらに工夫に努める。 国際会議の出席については、男女共同参画の推進により効果のある会議に絞って参加している。また、外国旅費について、ディスカウントチケットを利用することにより費用面でも節約している。また、出席する職員のレベルや人数について、会議の内容、諸外国の状況を踏まえ、不断の見直しを行う。 					
予算監視の・所効見率化	予算執行率の低さ(47%)も踏まえ、事業内容及び積算等の精査を行い、概算要求に反映させるべき。 特に、国際会議への出席については、出席による成果や政策へのフィードバックについて、具体的な検証を行うべき。					
補記	<ul style="list-style-type: none"> 21年度予算執行、22年度予算要求に当たっては、一般競争入札による事業実施、事業内容の見直し等により、経費の削減を図ったところであり、23年度予算要求に当たっても、引き続き、執行状況を踏まえた工夫を行う。 22年度予算については、APEC関連会合の日本での開催に伴うAPEC関連経費の増額(4百万円→95百万円)により、対前年度増となっている。 					



別紙

D. 国際会議出席に係る資料翻訳

支出先	使途	金額
(株)コングレ	資料翻訳	0.8百万円
(株)コンベンションリンクージ	資料翻訳	0.2百万円
(株)インターフループ	資料翻訳	0.1百万円
合計		1.0百万円